

近ごろ、幼稚園などで、自分から遊びを見つけることができない子どもに出会うことが多くなったようだ。いろいろの機会にそういう子どもの家庭での様子を知つてみると、高層住宅の七階、十階というようなところに住んでいることがしばしばある。このことは私だけの経験ではなくて、いろいろの人から似たようなことをきかされる。先ごろ、オランダのユトレヒト大学に行ったとき、そこの教育学の教授が、最近、生れたときから高層住宅で生活している子どもが増加したために、子どもの遊びが変化してきたと力をこめて私に語られた。ユトレヒトのように、緑が多く、公園も沢山ある町でも、高層住宅に住む小さい子どもは、自分ひとりで下においていて緑のある広場までゆくことができない。だからユトレヒトの街でも、幼児が自分から遊ぶことができなくなってしまったといふ。私たちからみると、東京よりもはる

かに恵まれた環境であると思うのに、似たような話をきいて驚いたのである。

こうした幼い子どもの家庭生活環境の変化は、幼稚園の生活にまで影響を与えるのは当然であろう。本来、二、三歳の子どもが経験しておくような、子どもから発したとりとめのない遊びや、自然物と戯れて遊ぶようなことを、幼稚園でやらなければならぬのである。幼稚園の果す機能が、急激に変化しつつあるようを見える。このことは今日だけではなく、くりかえし着目して研究すべき課題であると思う。川上美子氏の水と土の遊びの研究は、この観点からも意義がある。

今月から連載される加古さとし氏の遊びの研究は、昔から遊ばれてきた遊びの資料の集成として期待されるものであら。

(T)

幼児の教育 第七十八卷第十号

十月号 ◎ 定価二五〇円

昭和五十四年九月二十五日 印刷
昭和五十四年十月一日 発行

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一
お茶の水女子大学附属幼稚園内
編集兼
発行人 津 守 真

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一
お茶の水女子大学附属幼稚園内
発行所 日本幼稚園協会

108 東京都港区三田五ノ一二ノ一
印刷所 図書印刷株式会社

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一
発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所フレーベル館にお願いいたします

※万一製品不良本がございましたら、おとりかえいたします。